

# 原野谷学園

## 新たな学園づくり地域検討委員会

だより No. 4

### 原野谷学園にふさわしい学校施設の在り方は「一体型」か「分離型」か

原野谷学園新たな学園づくり地域検討委員会では、小中一貫教育を進める上で、原野谷学園にふさわしい学校施設の在り方についての検討がすすめられています。

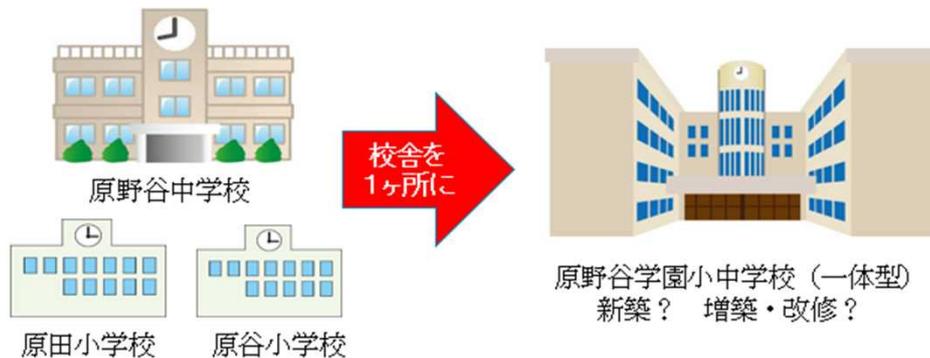
第3回（3月14日開催）、第4回（5月8日開催）の地域検討委員会では、学校施設の形態について研究を行いました。中でも小中学校の校舎を1ヶ所に集める施設一体型と、小中学校が分散している施設分離型について、それぞれのメリット、デメリット等について検討を行いました。

#### ★検討に当たっての諸条件等

- (1) 少子化の影響で、各小中学校の児童生徒数は20年前と比べて約40%減少している。
- (2) 子どもを少人数学級に通わせることを心配して、原野谷地域以外に移ってしまう人もいる。
- (3) 中学校区学園化構想、小中一貫教育研究指定で行われている学園内の園・学校間の連携・交流が成果を上げている。
- (4) 学園内の各小中学校の建物の老朽化が進んでいる。建て替え・改修の検討を始めなくてはいけない。

#### 案①

#### ●施設一体型(案)



#### 案②

#### ●施設分離型(案)



※ 地域検討委員会では、今年度中に学校施設の在り方の方向性を打ち出す予定です。

## 子ども広場あんり、原谷小・原田小の保護者説明会を開催しました

小中一貫教育と新たな学園づくりについて、子ども広場あんりと原谷小・原田小の保護者の皆様へ説明会を開催しました。保護者の皆様からは、小中一貫教育、学校施設の在り方について多くの御意見をいただきました。いただいた御意見は、地域検討委員会に報告をし、今後、学校施設の在り方を検討していく上で参考とさせていただきます。  
御参加いただきました皆様、ありがとうございました。



5月1日・2日（子ども広場あんり）



5月19日（原谷小・原田小）

※写真は原谷小保護者説明会

### 説明会で保護者の方からいただいた御意見

- ・原田小は統合せざるを得ないだろうと多くの保護者は考えている。統合ありきの話しだと思っていた。
- ・原谷地区の保護者の中には、桜が丘中と統合するのがよいのではという意見もある。
- ・一体校にする場合の学校の位置が分からないのが不安。
- ・一体校になったとしても人口が減り続けるのであれば、またすぐ統合を考えなくてはいけなくなるのではないか。人口を増やすことを考えないといけない。
- ・一体校になって子どもや先生の交流が増えれば、小学生が中学校に上がる時に安心できると思う。
- ・あんりには和田岡の子も通っている。和田岡小も含めた検討をしたらどうか。
- ・一体校に地域施設が入って、新しい学校が小さい子からお年寄りまで集う場所になるとよい。
- ・一体校になって、子どもが多くの人と関わることができるようになるとうい。
- ・小学校の統合は賛成だが、中学校との一体化には反対。
- ・6年生が中学生になる時には、すごく成長する。小中間のギャップを乗り越える力を養うことも必要ではないか。小学校と中学校は別々にあった方がよい。
- ・統合は反対。少人数、複式学級は悪いことではない。学校がなくなれば地域は先細りするだけ。学校がなくなるのは地域にとってデメリットでしかない。
- ・子どもが少なくなるのを心配している親もいる。新しい学校がいつごろできるかで地区外に家を建てるか、地元に戻ってくるか悩んでいる保護者もいる。

## 第5回新たな学園づくり地域検討委員会の開催について

日時：平成30年6月29日（金） 午後7時から

場所：原野谷中学校 2階 図書室

御意見・御質問等ございましたら、  
お寄せください。

発行・編集  
掛川市教育委員会 教育政策室

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1  
電話：0537-21-1109 FAX：0537-21-1222  
E-mail：kyoikubu@city.kakgeawa.shizuoka.jp

